

大学史展示室 特集展 7

駒大校歌と北原白秋

会 期 平成19年1月15日(月)～3月30日(金)

場 所 駒澤大学禅文化歴史博物館2階 大学史展示室

主 幹 駒澤大学禅文化歴史博物館大学史資料室

現在、校歌を歌う、聞くことは、入学式、卒業式のみではないでしょうか。卒業式を前に、駒澤大学校歌の誕生に関するエピソードを紹介します。

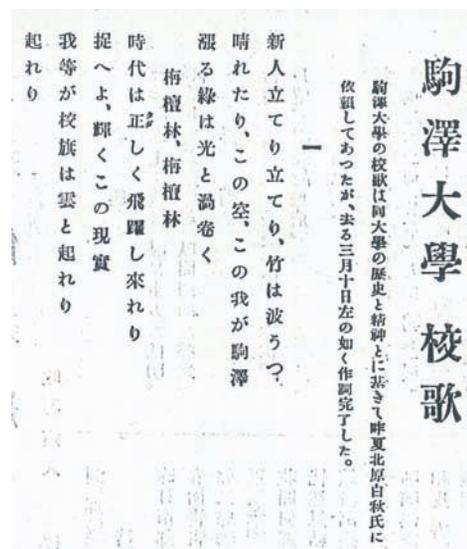
これまで、現在の校歌は、昭和5(1930)年3月10日に南満州で、作詞家・北原白秋、作曲家・山田耕筰で完成したといわれてきました。

今回、同窓生の方から寄贈いただいた資料により、新たな事実がわかりました。

この展示をご覧いただき、駒澤大学校歌の歴史を知っていただければ幸いです。



昭和5(1930)年 校歌楽譜



昭和5(1930)年 校歌歌詞
(『想苑』2-4、本学図書館蔵)

I 文学者 北原白秋

校歌を作詞した北原白秋は、詩人・歌人として多くの作品を残しています。当館では、北原白秋が作った短歌の作品を所蔵しています。この作品は、北原白秋著『歌集 雀の卵』にも掲載されています。北原白秋は「雀」をテーマとした作品を数多く残しています。

【展示資料】

- 資料 北原白秋筆「鞠もちて遊ぶ子供を 鞠もたぬ子供見惚るる山ざくら花」
- 資料 北原白秋著『歌集 雀の卵』（短歌新聞社復刻本、2005年）

II 『白秋全集』と校歌

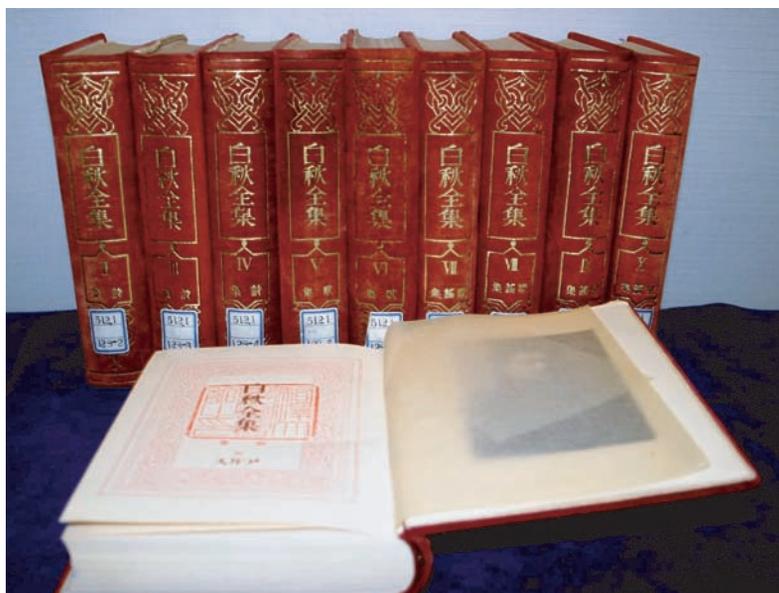
駒大校歌の誕生は、中国東北部（南満州湯崗子）にて、北原白秋が作詞したといわれてきました。今回、長野県と同窓生から寄贈された『同窓会誌』創刊号から校歌誕生の新たな事実を発見しました。同書によれば、校歌の誕生は北原白秋著『白秋全集』の編集と深く関わっていました。

【展示資料】

- パネル 校歌ができるまで・・・ 堀口沙羅樹（英一）
- 資料 『応援団誌』創刊号 昭和30(1955)年 長野県 小松武男氏寄贈
- 資料 『白秋全集』1巻～10巻(昭和4<1929>年～昭和9<1934>年) 本学図書館蔵
- 写真 昭和4(1929)年頃に料亭があった場所(現駒沢交差点)



『応援団誌』創刊号
昭和30(1955)年
長野県 小松武男氏寄贈



『白秋全集』1～10巻(昭和4<1929>年～9<1934>年)
本学図書館蔵